

2008年3月4日

受益者の皆様へ

安田投信投資顧問株式会社

「安田ジャパン・セレクト3カ月決算型(愛称：厳選大型)」の基準価額変動について

平素は格別のご高配を賜りありがとうございます。

さて、3月3日の国内株式市場の急落を受け、弊社標記ファンドの基準価額も大きく変動いたしましたので、その要因と今後の見通しについてご報告申し上げます。

< ファンドの騰落率 >

ファンド名	基準価額(円)		前日比(円)	騰落率(%)
	2月29日	3月3日		
安田ジャパン・セレクト(3カ月決算型) (愛称：厳選大型)	7,994	7,587	-407	-5.09%

< 関連主要株価指数の騰落率(2月29日と3月3日の比較) >

関連主要株価指数	騰落率
TOPIX(東証株価指数)	-4.01%
日経平均株価	-4.49%
JASDAQ指数	-1.86%
東証マザーズ指数	-3.14%
大証ヘラクレス指数	-2.28%

3日の国内株式市場は、サブプライム問題に端を発した米国景気の後退懸念と信用収縮懸念の再燃に加え、海外株式市場の下落、原油価格の高騰、先週末の急速な円高進行等の外部環境の悪化を背景に急落しました。市場参加者の様子見姿勢から市場エネルギーが低位に留まる中、下落幅が拡大した格好です。

大幅な株価下落により、東証1部の今期予想ベースのPERは15倍台にまで低下したほか、PBRや配当利回り等、各種投資指標から見たバリュエーション面の割安感が再び顕著となっています。現在の株価水準は、既にして来期企業業績の大幅減益をある程度まで織り込んだ水準と見られ、国内外の景気や企業業績の先行きに対する不透明感が拭えない状況下とはいえ、懸念先行で売られ過ぎと見ています。

本ファンドの運用助言を受けておりますタンゴ・インベストメント・ブレインズからは、以下のコメントを得ておりますので、ご報告いたします。

\*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。\*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補充書面を含む。)をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。\*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。

「上記の表の通り、当該ファンドの基準価額は、当日のTOPIX（参考インデックス）の下落率に対しても劣後しました。基準価額の下落の要因となった主な銘柄は、ダイキン（当日8.6%の下落）、三菱重工（同8.4%）、イオンクレジット（同8.1%）、いすゞ自動車（同7.0%）、住友化学（同6.2%）、三菱商事（同6.1%）などでした。当ファンドは、2月は2.80%上昇し、TOPIXのこの間の1.64%の下落に対して大幅な超過収益となりました。3月3日の保有銘柄株価の調整は、このような前月の運用成績の向上に寄与した銘柄の短期的な利食いなどの調整によってもたらされたものと思っており、いずれ上昇基調を取り戻すものと確信しています。株式市場は底値近辺にあるとの認識は変わっていません。1月下旬以降ポートフォリオを防御的な運用から積極的にリターンを狙って運用していく姿勢に変えてきました。現在も、この方針に変更はありません。私どもが分類しているコア70業種の中で、特に割安さが目立つのがテクノロジーに属するグループです。勿論、テクノロジーセクターは短期的には業績の下方修正のリスク、また、新年08年度の収益の会社予想がどのような形で発表されるかなど、不透明な要素は残っています。これらを踏まえて慎重に、しかし、極端に割安領域に売り込まれてきた銘柄をじっくり仕込み、マーケットの反転時に大きなリターンが獲得できるよう備えていく計画です。」

以 上

\* 当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。\* 当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む。）をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。\* 当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。